

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	IJK美原第2工場	階数	地上4F地下1F
建設地	大阪府堺市美原区木材通2丁目812	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	50人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,750時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年8月 予定	評価の実施日	2010年7月8日
敷地面積	3,380㎡	作成者	山本建築設計室
建築面積	2,343㎡	確認日	2010年11月10日
延床面積	7,189㎡	確認者	山本 庄吾



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

(kg-CO₂/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・㎡)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

音環境	2.6
温熱環境	2.4
光・視環境	2.6
空気質環境	2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	2.4
耐用性	2.8
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物の	3.9
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.3
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	隣地にある第一工場との外観の一体感や周囲の環境を乱さないような建築物となるよう配慮した。	0
Q1 室内環境	従業員の作業・執務が振動・騒音・室温等により阻害されないよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化や屋上緑化を行い、快適な作業ができるよう配慮した。
Q2 サービス性能	従業員の作業・執務スペースが十分に確保され、機器についても業務に支障がないよう配慮した。	
LR1 エネルギー	自然エネルギーの利用は無いが、過剰なエネルギー消費とならないよう配慮した。	LR3 敷地外環境 屋上緑化や敷地内の駐車場を設置し、周囲の環境について悪影響を与えないよう配慮した。
LR2 資源・マテリアル	資源・マテリアルの効率の悪い使用方法とならないよう配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	I.J.K 美原第2工場新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	美原区木材通2丁目812番4	0.7	
	主用途/延床面積	工場 / 7,188.86 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.3	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.9	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.4	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		2.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	隣地にある第一工場との外観の一体感や周囲の環境を乱さないような建築物となるよう配慮した。